

# 「滝川グライダー競技講習会 2016」企画（案）

2016.3.16ver.1.1

## 1) 趣旨

北海道の恵まれた自然環境と気象条件のもと、日本で最も整備された「たきかわスカイパーク」を活用して国内のトップパイロットがしのぎを削る日本滑空選手権の開催に先立ち、北海道におけるグライダーレースのポテンシャルを検証するとともに、グライダーレースの運営や日本選手権参加予定選手の飛行の慣熟を兼ねたグライダー競技講習会を開催する。また、講習会開催に合わせて、海外から第一線で活躍するグライダーパイロットを招聘し、全道エリアの調査飛行を行うとともに講習会及び選手権運営のノウハウを習得する。

## 2) 本事業の位置づけ

2016-17年春 グライダー競技キャンプの開催

2018年春 プレ日本滑空選手権（滝川オープン）開催（日本選手権開催準備大会）

2019年春 日本滑空選手権開催

## 3) 主催

公益社団法人滝川スカイスports振興協会（SATA）

## 4) 後援

滝川市、（公社）日本滑空協会、ほか

## 5) 協賛

各社

## 6) 期間

<競技講習会> #1 平成28年5月23日（月）～5月27日（金）：5日間

#2 5月30日～6月3日（月）～（金）：5日間

<交流会> 5月28日（土）

## 7) 場所

たきかわスカイパーク（北海道滝川市）

## 8) 参加予定

各回ともにグライダー各10機程度

パイロット、スタッフ計 30 名

9) 招聘予定者

1. Gavin Wills 氏 (New Zealand)

同国オマラマ国際滑空センターにて、Mountain Soaring School

“Glide Omarama”主宰

飛行時間 10,000 時間、67 歳

2. 滝沢 信三氏

オーストラリア国ナロマイン飛行場にて、“Soar narromine”を主宰

飛行時間 11,000 時間、70 歳

10) 予算規模

100 万円程度 (別途算出)

11) 内容…ウェザーに合わせて、以下のメニューの実施日を調整

- ・北海道で X'C を行うには…北海道の地勢、ウェザー、O/L フィールドの特性 (座学)
- ・MG による O/L シュミレーションフライト (上見) とフィールド調査 (下見)
- ・O/L の計画と実践 (美唄スカイパーク、実際の牧草地) ※リトリブは参加者による
- ・ガグル講習 (座学と実技)
- ・X'C 飛行計画 (座学と上空アドバイス)
- ・競技フライトの ABC
- ・L&F 形式のフライト
- ・タスクをセットする場合、AAT(Assigned Area speed Task)または POST(Pilot Optional Speed Task)タスクも検討する。

※タスクエリアは、石狩平野及び幌加内・名寄エリアを想定

- ・主催者から以下の情報が提供される

旋回点一覧/O/L フィールド一覧/

空域情報/開催地規則/宿泊等タウン情報/

12) 参加要領

- ・参加希望者は、**H28.3 月末日**までに主催者に参加意向を打診してください。
- ・4 月 24 日までに所定のフォームにて申し込む (参加費は 4,000 円/日)
- ・参加資格

# 1 : ・自家用/事業用操縦士 (滑)

- ・有効な身体検査証明書の保有
- ・日本滑空記章銅章以上

- ・滞空 5 時間以上の経験
- ・総飛行時間 100 時間以上
- # 2 : ・自家用/事業用操縦士 (滑)
  - ・有効な身体検査証明書の保有
  - ・FAI 滑空記章銀章以上
  - ・300kmzigzag 以上の飛行 (飛行証明の有無は問わない)
  - ・総飛行時間 300 時間以上
  - ・フィールドランディングの経験があること
- ・飛行及び解析時には GNSS を用いる。
- ・機体には第三者賠償責任保険 (2 億円以上) が付保されていること
- ・宿泊 : Cu ロッジ、市内ホテルを斡旋する
- ・レンタル単座機あり (機数に制限あり)
- ・期間中の臨時入会費、着陸料並びに係留料は発生しない
  - ※外来機は原則トレーラー保管または野外係留
- ・曳航料は所定の基準による (会員/臨時会員別)
- ・クルー参加は任意…クルー参加がない場合、他機の O/L 時にはリトリブに積極的に参加する

### 1 3) 問い合わせ先

たきかわスカイパーク (日口)

TEL.0125-24-3255,22-2976

email: [sata@rapid.ocn.ne.jp](mailto:sata@rapid.ocn.ne.jp)

### ※日本のグライダーパイロットの皆様へ

滝川で日本選手権クラスの競技会を開催する場合、タスクエリアとしてアウトランディング場の少ないエリアや気象条件の読みが難しい山岳地帯を飛行する可能性があることから、開催地細則等で X' C 経験 (含む、アウトランディング経験) の少ないパイロットや滝川エリアで飛行慣熟ができていないパイロットに対し、安全上の観点から参加を制限させていただく方向で開催せざるを得ないと主催者側は考えています。今後、日本選手権クラスの競技会に参加をお考えの皆様は事前に開催予定地での飛行慣熟を十二分に行って、安全な競技会を楽しめますようよろしくお願い申し上げます。